

令和5年(2023)11月 『虫たちの古代米護衛隊』

10月初旬の早朝、松子の田んぼに出かけると朝モヤの中、チチチチ・・・と虫の音が聞こえました。よく見ると、天に向かって伸びている緑米の黒々とした稲穂のさらに、その先に、セスジツユムシが一匹。まるで田んぼの見張り役です。目をこらすとトンボやクモ、イナゴの仲間が、緑米の葉や穂のあちこちに居て、宝探しのような時間を過ごす事ができました。

古代米の中でも、赤米や黒米に比べ収穫期が最も遅い緑米。長い期間をかけてゆっくりと成長し、虫たちにもしっかり棲み家を提供します。虫たちも緑米の受粉を手伝うことで、代々、丈夫な緑米を作ることに一役買いながら、次の季節へと命をつないでいきます。

12月は、3日にしめ飾り作り、16日に収穫祭を予定しています。ぜひ、豊かな自然と素敵な時間を過ごせる松子の里にお出かけください。

<問合せ先>

増田 090-8045-0606 吉田 090-5317-9738

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中！

